

						トラック → 鉄道		⑬-7	
実験名称		宮城野駅構内物流倉庫を活用した、宅急便及び流動機材の鉄道輸送実証実験							
実験概要		・長距離トラック輸送を鉄道輸送に転換 ・宅配便輸送に伴い偏在する流動機材の再配置についても鉄道利用に転換							
申請者		荷主等 ヤマト運輸(株)			物流 日本貨物鉄道(株)				
実験期間		H16年8月～H17年7月（1年間）							
輸送経路		現行		①仙台－(トラック)→札幌、岡山、高松、福岡 ②全国各地←-(トラック)→仙台、山形					
		転換後		①仙台－(トラック)→宮城野駅－(鉄道)→札幌タ駅－(トラック)→札幌市 西岡山駅－(トラック)→岡山市 高松タ駅－(トラック)→高松市 福岡タ駅－(トラック)→福岡市 ②全国各地←-(鉄道)→宮城野駅－(トラック)→仙台、山形					
貨物		品目 ①宅配貨物 ②流動機材			貨物量		①宅配貨物 7,320トン ②流動機材 8,880トン		
CO2排出量		現行 1,829.5 t-CO2/年		転換後 315.3 t-CO2/年		削減量		1,514.1 t-CO2/年 削減率 82.8%	
補助金申請額		7,920,000円							
施策効果		191.2 t-CO2/百万円・年							
備考									

